



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 東海汽船株式会社

コード番号 9173 URL <http://www.tokaikisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 潤一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理担当 (氏名) 横田 清美

TEL 03-3436-1135

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,525	△0.7	△72	—	△84	—	△116	—
26年12月期第1四半期	2,542	3.3	△126	—	△95	—	△91	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △47百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△5.29	—
26年12月期第1四半期	△4.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	14,521	4,239	27.9
26年12月期	14,753	4,353	28.1

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 4,053百万円 26年12月期 4,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	2.00	2.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は12月31日を期末配当基準日と定めておりますが、現時点では期末配当予想額は未定であります。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	△2.8	△500	—	△500	—	△300	—	△13.66
通期	11,800	△1.1	200	△66.0	200	△70.1	200	△51.8	9.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	22,000,000 株	26年12月期	22,000,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	44,977 株	26年12月期	44,977 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	21,955,023 株	26年12月期1Q	21,956,595 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・期末の配当予想につきましては、今後も経営環境に不確定要素が多いため、現段階では前回発表と同様に未定とさせていただきます。なお、予想額は当社最多客期の第3四半期以降、状況を見極め速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調にあるものの、輸入原材料価格の上昇など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、原油価格の下落により船舶燃料費が大幅に軽減されるなど、営業収支改善への後押しとなりました。

このような状況の下、当社グループは、一昨年伊豆大島台風災害後の観光復興に全社を挙げて取り組みました。旅客部門は、1月下旬より3月中旬にかけて開催された大島の最大イベント「椿まつり」のPR活動を拡大するとともに、企画商品を造成し、販売に注力するなど集客活動への取り組みを強化した結果、台風災害前の水準まで旅客数は回復しました。一方、貨物部門は大島の災害廃棄物の搬出が終了したことにより、輸送量が大幅に減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2億2千5百万円（前年同期2億5千4百万円）、費用面では船舶燃料費の減少があり、営業損失は7千2百万円（前年同期営業損失1億2千6百万円）、経常損失は8千4百万円（前年同期経常損失9千5百万円）となりました。なお、税制改正に伴う税金費用の増加により、四半期純損失は1億1千6百万円（前年同期純損失9千1百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《海運関連事業》

主力の海運関連事業の旅客部門は、大島の最大イベントである「椿まつり」において、大島町と連携して東京都の復興支援事業のPRの強化を図るとともに、代替船ジェットフォイル「大漁」の就航を機に新商品を造成し集客を図った結果、一昨年の台風災害後の落ち込みから回復し、全航路の旅客数は1万5千2千人（前年同期1万2千5千人）となりました。一方、貨物部門は、大島の災害廃棄物の搬出が終了したことにより、貨物取扱量は全島で8万トン（前年同期9万7千トン）となりました。

この結果、当事業の売上高は1億9千9百万円（前年同期1億9千3百万円）、費用面では船舶燃料費の減少があり、営業利益は1億4千2百万円（前年同期8千9百万円）となりました。

《商事料飲事業》

当事業の中心となる商事部門は、一部の島において公共工事の減少により島嶼向けのセメント販売が低調に推移し、当事業の売上高は2億6千7百万円（前年同期3億4千6百万円）、営業利益は2百万円（前年同期8百万円）となりました。

《レストラン事業》

東京湾周遊のレストランシップ事業は、団体利用客および客単価の高い婚礼客が低調に推移し、全クルーズでの利用客数は1万6千人（前年同期2万人）となりました。この結果、当事業の売上高は1億3千3百万円（前年同期1億8千2百万円）、営業損失は9千9百万円（前年同期営業損失7千7百万円）となりました。

《ホテル事業》

大島温泉ホテル事業は、「椿まつり」の観光客が台風災害後の落ち込みから回復し、宿泊客・昼食利用客ともに好調に推移いたしました。この結果、当事業の売上高は1億1百万円（前年同期6千2百万円）、営業利益は1千1百万円（前年同期営業損失3百万円）となりました。

《旅客自動車運送事業》

当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、ホテル事業同様、「椿まつり」の観光客回復により、利用客は好調に推移いたしました。この結果、当事業の売上高は1億8百万円（前年同期7千8百万円）、営業利益は3千万円（前年同期6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は145億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千2百万円減少しました。その主な要因は、現金及び預金などの流動資産が2億2千6百万円減少したことなどによるものです。

負債は102億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千7百万円減少しました。その主な要因は、借入金が返済により1億2千6百万円減少したことなどによるものです。

純資産は42億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千4百万円減少しました。その主な要因は、利益剰余金が1億6千万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月12日公表の数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率を、平成28年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来の35.6%から33.1%に、平成29年1月1日以降に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については35.6%から32.3%に変更しております。

この結果、繰延税金資産が27百万円、繰延税金負債が2百万円それぞれ減少し、当連結累計期間に計上された法人税等調整額が26百万円、その他有価証券評価差額金が5百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,561	2,346
受取手形及び営業未収金	1,289	1,434
商品及び製品	66	58
原材料及び貯蔵品	252	245
繰延税金資産	56	91
その他	400	223
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,624	4,398
固定資産		
有形固定資産		
船舶	15,707	16,602
減価償却累計額	△9,209	△9,356
船舶(純額)	6,497	7,246
建物及び構築物	1,380	1,452
減価償却累計額	△993	△999
建物及び構築物(純額)	387	453
土地	302	302
建設仮勘定	817	7
その他	1,367	1,403
減価償却累計額	△1,134	△1,159
その他(純額)	232	243
有形固定資産合計	8,237	8,252
無形固定資産	145	139
投資その他の資産		
投資有価証券	1,269	1,315
繰延税金資産	338	279
その他	228	228
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	1,745	1,731
固定資産合計	10,128	10,123
資産合計	14,753	14,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	829	820
短期借入金	1,891	1,930
未払法人税等	17	25
賞与引当金	33	133
その他	729	705
流動負債合計	3,502	3,615
固定負債		
長期借入金	5,323	5,158
繰延税金負債	39	34
退職給付に係る負債	1,275	1,253
特別修繕引当金	152	129
その他	106	90
固定負債合計	6,897	6,666
負債合計	10,399	10,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100	1,100
資本剰余金	693	693
利益剰余金	2,357	2,197
自己株式	△8	△8
株主資本合計	4,142	3,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	141
退職給付に係る調整累計額	△88	△69
その他の包括利益累計額合計	10	71
少数株主持分	200	185
純資産合計	4,353	4,239
負債純資産合計	14,753	14,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高		
海運業収益	1,926	1,959
その他事業収益	616	566
売上高合計	2,542	2,525
売上原価		
海運業費用	1,656	1,640
その他事業費用	668	605
売上原価合計	2,325	2,245
売上総利益	217	279
販売費及び一般管理費	343	352
営業損失(△)	△126	△72
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	18	-
助成金収入	5	8
賃貸料	3	3
その他	9	9
営業外収益合計	39	23
営業外費用		
支払利息	7	26
持分法による投資損失	-	5
その他	1	3
営業外費用合計	9	34
経常損失(△)	△95	△84
特別利益		
国庫補助金	29	-
固定資産売却益	-	4
特別利益合計	29	4
特別損失		
固定資産圧縮損	29	-
特別損失合計	29	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△95	△80
法人税、住民税及び事業税	35	34
法人税等調整額	△60	△6
法人税等合計	△24	28
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△71	△108
少数株主利益	19	8
四半期純損失(△)	△91	△116

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△71	△108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	42
退職給付に係る調整額	-	18
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△9	61
四半期包括利益	△81	△47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100	△55
少数株主に係る四半期包括利益	19	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	海運 関連事業	商事 料飲事業	レストラン 事業	ホテル 事業	旅客自動車 運送事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,926	300	182	62	71	2,542	-	2,542
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	45	0	0	6	61	△61	-
計	1,934	346	182	62	78	2,604	△61	2,542
セグメント利益 又は損失(△)	89	8	△77	△3	6	22	△148	△126

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△148百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△146百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	海運 関連事業	商事 料飲事業	レストラン 事業	ホテル 事業	旅客自動車 運送事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,959	232	133	100	99	2,525	-	2,525
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	34	0	0	9	55	△55	-
計	1,969	267	133	101	108	2,580	△55	2,525
セグメント利益 又は損失(△)	142	2	△99	11	30	87	△160	△72

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△160百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△158百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。